

平成20年度リハビリテーション従事者研修会

【ベーシックコース】2会場×3回

- 1) 目的：病院から提供される退院時リハビリ情報提供書（仮称）等を活用し、関係機関と連携のとれるリハビリ従事者を育成する。
- 2) 方針： 参加しやすい わかりやすい基礎コース
連携方法とリスク管理に視点をいた講義
生活リハビリテーションですぐに使える実技を重視
講師は各管内の中核的病院及び京都府リハビリテーション支援センター
- 3) 対象者：在宅や施設、病院・診療所等で実際に利用者様や患者様のリハビリテーションに従事されている方（看護師、ヘルパー、運動指導員、生活指導員・生活相談員等）。
- 4) 内容：

第1回 8月 2会場（1会場24名）13：30～17：00

- 「地域リハビリテーション支援センターインフォメーション」 13：30～13：45（15分）
- 「すぐに使える福祉用具（自助具）」 13：45～14：45（1時間）
 - < 講義 > 福祉用具の基礎知識、自助具、疾患別注意点や工夫など
 - < 実技 > 自助具の作り方、使い方
- 「展示介護福祉機器紹介」 14：45～14：55（10分）
- 「すぐに使える関節可動域（ROM）訓練」 15：00～17：00（2時間）
 - < 講義 > ROM訓練、ストレッチの基礎知識
疾患別にみたROM訓練の注意点、生活上の工夫など（症例紹介）
退院時リハビリテーション情報提供書と活用方法、連携の取り方
 - < 実技 > 可動域訓練、ストレッチにおける注意点（骨格標本、上肢下肢体幹）
ベッド、車いすにおけるポジショニングのポイント

第2回 9月 2会場（1会場24名）13：30～16：40

- 「地域リハビリテーション支援センターインフォメーション」 13：30～13：50（20分）
- 「すぐに使える筋力訓練」 13：50～15：20（1時間30分）
 - < 講義 > 筋力・筋持久力トレーニングの基礎知識、疾患別にみた運動時の注意点
アセスメント、運動機能向上、生活上の工夫など（症例紹介）
退院時リハビリテーション情報提供書と活用方法、連携の取り方
 - < 実技 > 高齢者向けの筋力訓練、転倒予防体操
ウォームアップ、クールダウン、バイタルチェック
- 「すぐに使える摂食嚥下訓練」 15：30～16：40（1時間10分）
 - < 講義 > 摂食嚥下障害、誤嚥の種類、嚥下テスト、嚥下訓練の基礎知識
疾患別にみた摂食嚥下訓練の注意点、生活上の工夫など（症例紹介）
退院時リハビリテーション情報提供書の活用方法、連携の取り方疾患別注意点
 - < 実技 > 3分で出来る嚥下訓練
アイスマッサージ、食事介助手技など

第3回 10月 2会場 (1会場24名) 13:30~17:00

- 「すぐに使える住環境調整」 13:30~14:30(1時間)
 < 講義 > 住環境整備の意義、高齢者、障害者の住環境基礎知識
 疾患別にみた住環境調整の注意点、福祉用具、住宅改修上の工夫など
- 「展示介護機器紹介」 14:30~14:40(10分)
- 「すぐに使えるトランスファーテクニック」 14:50~16:50(2時間)
 < 講義 > 移動・移乗の基礎知識、疾患別にみた移動移乗介助法の注意点
 生活上の工夫など、生活リハビリテーションの観点から(症例紹介)
 退院時リハビリテーション情報提供書と活用方法、連携の取り方
 < 実技 > 移動・移乗介助手技
- 「受講証授与」 16:50~

【日程、会場、講師】

【ベーシックコース】

第1回テーマ 福祉用具 ROM訓練	開催日	会場		福祉用具 講師	ROM訓練 講師
	8/7 木	舞鶴	中丹東保健所	舞鶴赤十字病院 OT 坂根芳美	舞鶴赤十字病院 PT 竹内良子
	8/8 金	福知山	中丹西保健所	福知山市民病院 OT 前田幸弘	福知山市民病院 PT 足立晃平

第2回テーマ 筋力訓練 摂食嚥下	開催日	会場		筋力訓練 講師	摂食嚥下 講師
	9/4 木	舞鶴	中丹東保健所	舞鶴市民病院 PT 小幡知良	舞鶴赤十字病院 ST 今井拓也
	9/5 金	福知山	中丹西保健所	京都協立病院 PT 齊藤和志	福知山市民病院 ST 池澤正晃

第3回テーマ 住環境調整 トランスファー	開催日	会場		住環境調整 講師	トランスファー 講師
	10/2 木	舞鶴	中丹東保健所	京都協立病院 OT 今井昌之	綾部市立病院 PT 村山あけみ
	10/3 金	福知山	中丹西保健所	福知山市民病院 OT 大久保洋平	五十鈴荘 PT 神内昭次